

地域包括 かこがわ便り



← ブログはこちら (*^v^*)



令和5年
新年号
VOL.44

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

加古川町内 多職種連携研修会

10月20日、加古川市総合福祉会館において、**加古川町内多職種連携研修会**を開催しました。地域包括ケアの担い手である、ケアマネジャー、介護サービス事業所、薬剤師、民生委員など**15の職種、総勢93名**の方がご参加くださいました。ファミリークリニックかこがわの朴先生より「**在宅医療のイロハ～老後も安心・地域の身近なお医者さん**



～」と題してご講義いただき、その後、独居高齢男性の事例をもとに、**それぞれの立場でできる支援**についてグループワークを行いました。先生の講話は会場のみなさまの心に深く響き「**誰もが、加古川で、わが町で、老後も安心して生きていける!**」との言葉も聞かれ、顔の見える関係性づくりの一助を担うことができたのではないかと感じています。

寿大学OB会 ACP 講演会

加古川公民館の高齢者大学である、**寿大学のOB会**の2グループの研修の一環として「**もしバナゲームで人生の最期を考えよう!**」とのテーマで**ACP**のお話をさせていただきました。日頃話題にしにくい内容ですが「**なぜ今、お元気な時から考えていかないといけないのか?**」の切り口から入り、その後、カー



Fグループのみなさま



本町グループのみなさま

ドゲームを通じて「**最期に受けたい医療と介護**」について考えていただきました。またより身近に感じていただくよう「**ACP川柳**」の創作をお願いしたところ、後日素敵な川柳が届きました。思いは変わっていきます。今あなたの思いが全てです。本日の思いをご家族とも共有していただきたいと思います。

陵の里学園OB会 講演会

氷丘公民館の高齢者大学の**陵の里学園OB会**よりご依頼をいただき、**認知症と介護保険**について講演させていただきました。代表者より「**みんな元気な方ばかりで、いざという時にどこに相談したら良いのかも知らない人も多い**」とお聞きしており、高齢者の総合相談窓口として当センターのPR



もしっかりさせていただきました。**100名以上の方がご参加**され、講演の内容は、認知症の基礎知識、認知症予防、介護保険について、と盛りだくさんの内容でお伝えし、事例も交えながら発表しました。老後の不安はみなさま抱えておられると思いますが、今回の講演を機に、少しでも老後の安心につながれば幸いです。また、みなさまの関心が高い認知症予防には**社会参加がとて効果的**で、陵の里学園OB会での「人と人との交流」が、今後も一層充実されることを願っております。

加古川町内 サロン代表者交流会



12月14日、恒例の加古川町サロン代表者交流会を開催しました。今回は「未来に思いを紡ぐサロン代表者交流会～今だからこそ「できる」を考える～」と題して開催です。第1部は、備後老人クラブの代表と、なかつ和っはの代表よりサロンの現状報告をしていただき、おふたりのサロンへの熱い思いが会場全体に広がっていきました。また、姫路市にあるNPO法人のはなのいえの理事長にお

越しいただき「コロナ禍でも負けない！地域の支え合い作り～「はなのいえ」開催の工夫～」と題して講演していただきました。コロナ禍での工夫や地域とのつながりを大切にしておられ「止めるのは簡単、どうやるかが大事、やり方次第」と話され、とても感銘を受けました。第2部は「コロナ禍でのサロン運営の工夫」についてグループワークし、各グループより発表していただきました。どのグループも盛り上がり意見交換されており、有意義な機会になったと思えました。この会が今後のサロン運営に少しでもお役に立てれば嬉しく思います。

認知症サポーター養成講座

今秋は認知症サポーター養成講座のご依頼を多くいただき、9月13日にサークル「人権と文化」、10月26日は加古川市の日常生活支援サポーター養成講座の受講生、10月31日と11月10日の2回に分けて関西電力サービス、11月17日は公募型で受講希望された市民の方に向けて、計5回の講座開催となり、新しく認知



症サポーターが90名誕生しました。みなさま、意欲的に正しい知識を取り込まれ、認知症の方への対応の仕方やそのポイントを、講義や質疑応答などから受け取っていただけたように感じています。コロナ禍で、予定通りに進まずに立ち止まることもありましたが、今出来る事を工夫し開催できたことは、今後活かそうに感じています。



介護ほっとカフェリフレッシュバス旅行

10月22日、毎年恒例のリフレッシュバス旅行を実施し、神戸市にあるサービス付き高齢者向け住宅「ゆいま～る伊川谷」の見学に行ってきました。「居住者主体のハウスづくり」として、自立されている方がご入居されることが多く、ご支援が必要になられたら併設の介護事業所を自由に利用することができます。「こんなところに住めたらいいなぁ～」とみなさま夢がふくらんでいました(*^-^*) 見学会の後は、明石海峡大橋を渡り、淡路ハイウェイオアシスにてフリータイム♪日々介護などでお忙しくされている参加者のみなさまですが、ゆっくりとリフレッシュできたひとときとなりました。



全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会

10月3日と4日、全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の設立30周年記念研究大会が開催されました。地元兵庫県での開催に「我こそは」と実践事例発表の応募をしたところ、当センターの活動内容が採択され「地域の信頼を得ることのできる人材育成につながるセンター実践」という分科会で「地域包括支援センター機能強化をミクロで実践～人材確保・人材定着の試み～」というテーマで実践報告をしてきました。「他のセンターにも励ましになり、希望を与える取り組み発表でした」と総評をいただき、全国のセンターの実践発表からも良い刺激を受けた2日間でした。今後も頼りになるセンターになれるよう努めてまいります。

